

# 事後評価箇所選定理由書及び評価軸調書

## 【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名：緊急地方道路整備事業
- 路線名又は箇所名：主要地方道 浜玉相知線（鏡工区）
- 事業の概要
  - 工期：平成6年度～平成16年度
  - 事業費：27.8億円
  - 事業内容：道路改築（バイパス整備） L=1,800m

## 【評価箇所選定理由】

- 他の多くの道路事業箇所にも共通する課題を抱える箇所であること  
（具体的には）
  - ・旧道の道路幅員は狭く、自動車交通量が多い一方で、歩行者の交通量が多いことから交通事故も発生しており、交通安全対策が必要な箇所である。
  - ・西九州自動車道の唐津インターや国道202号と接続しており、整備効果として広域的な交流が促進され、地域間の連携強化が期待される箇所である。
- 今回の道路事業における事後評価対象箇所の中では、全体事業費が最も大きい箇所であること。

## 【評価軸】

### ○ トータルデザイン（プラン）

#### ■直接的効果

（交通安全）

- ・バイパス区間については、歩道の整備が図られたことにより、歩行者や自転車の安全確保が図られている。
- ・交通量について、旧道からバイパスへ一定の転換が図られたことで、旧道の安全性も向上している。  
特に大型車の転換が図られており、旧道の安全性が向上している。

（地域間連携強化）

- ・西九州自動車道唐津インターや国道202号とのアクセスが強化され、広域的な地域間の連携強化が期待される。

#### ■波及効果

（周辺地域への波及効果）

- ・東唐津駅周辺の土地区画整理事業で整備された街路とも接続していることから、区画整理区域内における住宅の新築や唐津東中学校・高校の立地等のまちづくりの進展にも寄与している。

<論点>

- ・旧道部の交通量が、バイパス部へ十分に転換しきれていない。

○ 維持管理のあり方

今回事業により整備された区間には、特殊な構造物などもなく、県が管理する他の道路と同様の維持管理及び補修を行っている。

- 【県内道路の維持管理内容】
- ・ 定期的な道路パトロール（2回／週）
  - ・ 街路樹の剪定（2回／年）
  - ・ 伐採（随時）
  - ・ 落下物の撤去
  - ・ 動物の死骸処理 等

<論点>

- ・ 維持管理について、この箇所特有の課題は見当たらない。

○ 地域住民との関わりについて

- ・ 事業の計画段階や実施段階において、地元との意見交換を行い、乗り入れ口の位置等、地元の意向を踏まえて事業を進めた。
- ・ 当事業に必要な事業用地について、一部用地取得に難航した箇所があったが、地元の協力を得て解決し、開通することができた。

<論点>

- ・ 早期に事業を完了するためには、地元の協力が不可欠であり、事業着手時において地元の合意状況等を慎重に見極める必要がある。